

【まちの将来像】  
**小さくても持続可能なまち**  
 ～豊かさと幸せを実感できる住み心地 100 点のまち～

**4つの戦略プロジェクト**  
 ～多様な人材が参加する持続可能な地域社会づくり～

**1. 雇用創出プロジェクト**  
 ～働く場所を確保し、安定した雇用を創出する～

雇用創出プロジェクトでは、売れる地域特産品の開発や森林再生による新事業の創出、道の駅、ダム周辺を拠点にした経済循環により、地域経済を活性化し雇用を創出します。

- 施策① 地域資源を活かした特産品開発と地域の活性化
- 施策② 森林再生による新事業の創出
- 施策③ 道の駅、ダム周辺を拠点にした経済循環

**2. 交流促進プロジェクト**  
 ～七ヶ宿町への移住・定住の流れをつくる～

交流促進プロジェクトでは、山村文化の再発見と活用や交流人口拡大に向けた拠点整備及び営業力と情報発信力の強化により、観光入込客数を含む交流人口の拡大を図り、交流から移住へ、移住から定住への流れをつくります。

- 施策① 七ヶ宿自然文化の再発見と活用
- 施策② 交流人口拡大に向けた拠点整備
- 施策③ 移住・定住支援センター事業の推進

**3. 若者定住支援プロジェクト**  
 ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

若者定住支援プロジェクトでは、便利で魅力ある定住環境の整備や子育て環境の充実、若者の出会い機会の拡充により、若い世代が住みやすい環境整備を推進します。

- 施策① 便利で魅力ある定住環境の整備
- 施策② 子育て環境の充実
- 施策③ 若者の出会い機会の拡充

**4. まちの魅力・活力プロジェクト**  
 ～時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する～

まちの魅力・活力プロジェクトでは、安全で安心な地域社会の構築、暮らしの応援体制の整備、及び元気な地域づくりを推進します。

- 施策① 安全で安心な地域社会の構築
- 施策② 暮らし応援体制の充実
- 施策③ 自立的な地域づくりの推進

**第2期**  
**七ヶ宿町**  
**ふるさと創生**  
**総合戦略**

本町では平成27年12月に「七ヶ宿町人口ビジョン」及び「七ヶ宿町ふるさと創生総合戦略」を策定し、様々な施策に取り組んできました。しかしながら、全国的に人口減少・少子高齢化や過度な東京一極集中といった課題は歯止めがかからない状況であり、国は第2期「まち・ひと・

しごと創生総合戦略」を策定し、引き続き地方創生に取り組んでいくこととしました。本町においては、人口減少や少子高齢化が依然として進行している中で、令和2年度から令和11年度を計画期間とする「第6次七ヶ宿町長期総合計画」を策定し、まちの将来像を「小さくても持続可能なまち」と豊かさと幸せを実感できる住み心地100点のまち」として掲げ、町民主体のまちづくりを図り、地域課題の解決と地域活性化に取り組んでいくため、「第2期七ヶ宿町ふるさと創生総合戦略」を令和2年3月に策定しました。

**将来人口の推計**

七ヶ宿町人口ビジョンでは、令和51年(2069年)までの七ヶ宿町の人口推移について、独自推計といくつかの仮定を

もとに試算しました。令和26年(2044年)の独自推計人口は706人ですが、出生率の上昇に加え子育て世帯が転入した場合は835人となり、さらに学生やリタイア組のUターンも合わせた場合は950人となっています。本計画では、財政面、福祉サービス等を勘案し、七ヶ宿町の総合戦略の効果的な施行及び国の総合戦略による効果により、令和26年(2044年)の目標人口を950人とし、その後人口減少の影響を最小限に抑えていくこととします。

**4つの戦略プロジェクト**

本町におけるふるさと創生のための今後5カ年の基本目標については、「第6次七ヶ宿町長期総合計画」及び第2期総合戦略の長期的ビジョンを踏まえつつ、第1期総合戦



略からの継続性を担保するために「1・雇用創出プロジェクト」、「2・交流促進プロジェクト」、「3・若者定住支援プロジェクト」、「4・まちの魅力・活力プロジェクト」の4つのプロジェクトからなる構成とこれを一体的、横断的に対応するため「多様な人材が参加する持続可能な地域社会づくり」の項目を関連させていきます。